

春のお奨め肥料（ベントグリーン編、その2）

リキマックスグリーンマックス（液肥）

リキマックスグリーンマックスは20-0-0の窒素肥料です。窒素成分の20%はすべてユーマックス窒素固定緩効性で穏やかに長期間緑色を維持することができます。また同時に鉄6%とマグネシウム（苦土）1%が配合されているために、葉緑素の生成を助けより長く緑色を維持することができます。

シグネチャーアイアンプラス（液肥）

シグネチャーアイアンプラスは12-0-0の配合の窒素肥料です。12%の窒素成分はすべて尿素窒素で配合されているので速やかな効果が期待できます。また鉄10%とマグネシウム（苦土）1%が配合されているので葉緑素を生成する手助けをします。より緑色が早く長く出ます。窒素の効果は短期的です。長期的な窒素の効果期待する場合はリキマックスグリーンマックスをご利用ください。

グリーンズキング10（グリーン用細粒肥料）

休眠期から春の萌芽期は新しい根の生える時期でもあります。根の成長にはリン酸は欠かせません。通常メンテナンスではリン酸はさほど必要ありませんが休眠期からの萌芽時や夏のストレスからの回復期、新しい種の播種後にはリン酸を施肥して発根を促すことがあります。そのようなリン酸高の配合の肥料を一般的に「スタータータイプ」と呼んでいます。このグリーンズキング10はリン酸を21%含んでいるスタータータイプの肥料です。

土壌分析結果からリン酸が多く土壌に含まれているときはあえてリン酸肥料を投入する必要は無いかもしれません。

2010.04